



発行所 大熊町公民館
 電話(大野) 65番
 発行者 清雄
 編集責任者 天雄
 西吉 田農 印刷所
 浪江 印刷所
 電話 58番

私に斯くあり度い と 思う

町民の皆様と共に
 町長就任に当って
 志賀 秀正

躍働する町政を
 めざして
 私は、町内大方の皆様
 の御支持によりまして去
 る12月4日、多大の功績
 をのこされた前小畑町長
 さんのあとをつぎ、町政
 執行の任に当ることにな
 りました。
 過去八カ年の町政が、新
 創生期でありました事を
 考えますと、今後の町政
 はその完成期でなければ
 ならないと考えて居りま
 す。私は、町政のねらい
 は「地域社会としての町
 全体が良くなり、町民が
 物心両面ともに、より豊
 かな意義のある、幸福な
 人生を送られる様になる
 事だ」と考えて居ります。
 そのためには次の3つの
 事が大事だと考えて居ま
 す。
 第一に、町民の一人／＼
 が自分の一生をどの様に

民主的であると共に、科
 学的に、スチの通り行き
 方をする事が根本であり
 ます。
 次に政治の在り方が公平
 で、清潔である事です。
 最後に、秘密のない、明
 るい、皆様に納得してい
 たゞく、血の通う政治で
 ある事だと思ひます。
 この前提なしには、真の
 町民の和は、出て来ない
 からであります。

をいたし度いと思ひます
 物事に対する全力研習の
 上に立つ信念なしに、そ
 の場／＼の思いつきと感
 情の動きと、無責任な日
 和見では、廿世紀後半と
 云う戦国時代をのり切る
 ことは、容易ではないと
 思うので御座います。

町政の方向

私は就任以来、日夜活
 潑な活動を始めて参りま
 した。しかし、現在まで
 約二カ月余の仕事は、云
 はば今後の為の地ならし
 作業で御座います。
 今後の町政の方向につ
 いては、新年度予算編成の
 過程を経て改めましてお知
 らせする考えであります。
 たゞ次の事は申し上げて
 置きたいと思ひます。
 第一に、政治の姿勢を正
 し度いと思ひます。
 行政態勢を科学的に検討
 し、町長を中心とする民
 主的な鉄の結束のもとに
 徹底した研習と、信念と
 実行力と、規律によつて
 町行政推進の中心を確立
 する事でありませう。
 第二に、皆様の意志を反
 映して、自主的な町振興
 の方針と、実行計画を樹
 立して、方向を明確にし

主体性のある町政を行
 いたいと思ひます。
 第三に、未記帳問題を
 はじめ、過去8カ年の町政
 遺産を早く整理して、健
 全な財政を確立し、一方
 躍進する町政を立し、為に
 徹底した冗費の節約と、
 重点主義をとり度いと思
 ひます。
 第四に、常に皆様に、町
 内外の状況を、お知らせ
 すると共に、一般行政は
 勿論、教育その他各機関
 団体との総合体勢をしき
 真に八千町民の結束力に
 よりあらゆる「カベ」を
 突破して、地域振興の途
 を打開したいと思ひます
 現在県当局の行政査察
 を受けて居りまして、そ
 の結果を待つて町行政の
 態勢、一大転換を図る考
 えで御座います。皆様の
 の御理解と御協力なしに
 は、今後の町政躍進は期
 し得ないので御座います
 切に／＼町民皆様方の御
 協力と御支援をお願い
 いたしまして就任のことば
 といたします。終りに紙
 上をおかり致しまして、
 前小畑町長さんの長年に
 わたる御努力と功績にと
 感謝し、今後の御多幸を
 おいのり致します。

退職のことば

二期八年の町長を去る
 町は育つて来た

私は、大熊町長を去る
 12月3日任期満了によつ
 て退職いたしました。
 昭和29年大熊町発足の初
 代町長として、就任以来
 二期八年の長い間、私が
 任務遂行の為に賜はり
 ました町民の皆さんの御
 協力御支援に対し深謝申
 上げ、厚く御礼を申し上げ
 るもので御座います。
 回顧いたしましたれば、旧
 大野村、熊町村の合併は
 その一般概況に於て、極
 めて具備されて居つたの
 でありましたが、ややもす
 れば旧い感情のために町
 政上に芳ばしくない事態
 の生ずること、案じられ

たものであります。
 そこで先づ人の和を以て
 新しい町づくりの基本と
 し、総て大熊町のよき町
 風を造り上げ、本町進展
 の礎石と志したのであり
 ますが、幸いにも町民の
 皆様の絶大なる愛町の御
 協力を得て、今日に及ん
 だものであります。
 而して発足当初よりの懸
 案でありました町名問題
 分町問題、又は林野払下
 問題等大分長期を要しま
 したのが所期の目的を達成
 し得たものであります。
 又町財政上実には容易でな
 かつた小中学校の新改築
 役場庁舎新築、県立大野
 病院附属の伝染病舎の組
 合立新設、県立双農高の
 独立等に伴う地元負担
 又突発の昭和33年の災害
 復旧工事施行等、町財政
 の極度の窮乏を告ぐるに
 至つたのであります。皆
 の非常時に際しましては
 町民の皆さんにはよく役
 場を、議会を信頼せられ
 て、終始御協力下されま
 したために計画の全部を
 完了致したものでありま
 す。この外、土木関係に
 おきましても、町内32K
 mの延長をもつ県道の改
 良工事。就中駅前側溝工
 事に続く舗装工事、河川
 局部改良工事、海岸工事
 等について、補償を要す
 る土地建物についての個
 人を犠牲に御協力下さつ
 た関係の皆さんに感激い
 たす次第であります。
 以上申し上げました諸施設
 の為めに蒙つた町財政の
 立直しの未完は町民の皆
 さんに実に申訳ないと思
 縮する次第であります。恐
 り、今日の経済界より比
 べれば、苦しくても、事
 業はやつてよかつたとも
 考られますので、この点
 は皆さんにも御了解いた
 されるものと思つて居り
 ます。

今後に望むもの

先づ大熊町は発足以来八
 八才に育つたその發育振
 りは榮養失調にもかゝわ
 二ページ下へ

以上は在職中の事であ
 りますが、これからの事
 について私は皆さんに御
 願を申上ります。

年頭に思う

大熊町の皆々様
明けまして、お
めでとう御座い
ます。本年が皆
様のよりよい幸
福の年となりま
すよう、心から
お祈り申し上げ
ます。昨年は、
一般経済界の不
況も手伝い、必
ずしも畜産経済
は順調でござい
ませんでした。
まして、

肉豚下落から始まり、乳
価値下げに終った一年と
も申せましょう。
外国の畜産とくらべ、そ
の成り立ちが異なるとは
いえ、我が畜産経済が如
何に底が浅いかという実
態を辛直に認めざるを得
ないのであります。
そして貿易の自由化が進
みつつある今日こそは国
際競争に如何に対処する
か、われわれとして最も
も大きな関心事であり
ます。

畜産も人づくり

大熊農協 菅野祐一

確かに畜産は、農業近代
化の担い手であり、選択
的拡大の花形であります
が、物は経済の原則に従
って流れるため、このよ
うな発展の途上では、需
給の均衡になやまされる
のが、むしろ当然の成行
となる訳であります。
従って、政府並に国会に
於いては、国家の力で事
前に、且十分に生産と消

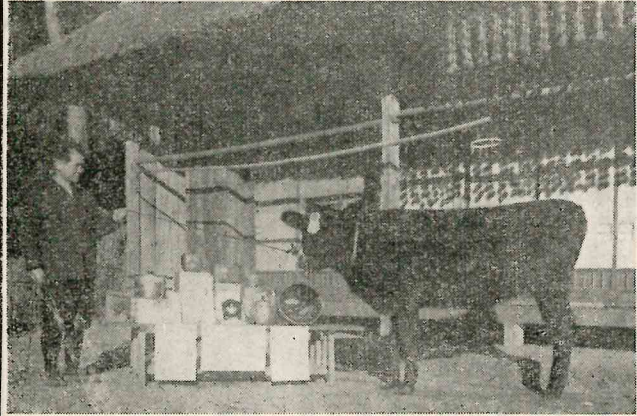
ろの「人づくり」が振興
の基本であることに異議
がないでありましょう。
技術水準の向上も、経営
の改革もすべて人あつて
の事でしょう。

畜産振興への途

一環した研究が大切だ

去る12月17日、大熊町
役場、大熊町農協、大熊
町和牛研究会、大熊町酪
農組合共催の下に、県立
双葉高校庭を会場に第1
回畜産共進会が開催され
た。

●乳牛の部	●黒毛和種の部
優等	優等
志等	志等
式等	式等
仲野 勝衛	堀川 晃
新谷 豊	堀川 一郎
佐藤 惣悟	志賀 博
波辺 勇夫	杉原 一
大山 勝蔵	堀川 界明
吉田 正雄	横川 一蔵
小泉 波	小泉 波



写真は優等入賞の「ひめゆり号」と所有者 堀川晃さん

一ページより
らず頗る良好であります
ので、益々頭健に養育す
ることでありませう。
いよ／＼総力を結集する
事は難しくはないと思
て居る。
大熊農協の菅野祐一畜産
部主任は語る。
「現在の畜産実績は、全
國的比較の上では低調な
ので今後、生産意欲の向
上、採算ある営農の為の
市場の勉強、飼育の管理
から流通面に到る一環の
勉強と、生産者相互の協
同化を目的として、関係
各機関と密接な連携の
ために、更に一段の精
進をしたい、……」。

ます。
先づ町民の皆さんの自覚
によりまして納税の觀念
の向上によつて徴税成績
が、満点に近くなつた事
は何よりも喜ばしき現象
であります。
一事は万事であります。
農業生産の面に於ても産
米、煙草、養蚕も年々上
昇を辿り、県の指定によ
る果樹畜産の振興等を加
へ前途は明るく、町内の各
戸が豊かになつて人の和
も増し町政に直接に響き
ます。斯くて農業構造改
善の態勢は備えらるゝ事
を確信されます。
又遠からず町村の合併の
第2次が行はれる事を前
提として町の将来に具へ
て下さい。幸いにも新町
長、志賀秀正君は私の及
ばなかつた諸点を補正し
て戴ける責任者として推
せん致します。志賀君に
よろしく御協力下さい。
私の退職に臨んでの御願
ひであります。
終りに長い間、町の責任
者としての無為無策、そ
の足跡は浅く申訳なく思
つて居りますが、皆さん
の御支援により満期まで
勤めさせて下さつた感激
は町長は止めても町政に
心は離れません。
出来る限りの協力を惜し
みません。
何卒将来とも御交誼を賜
りますようお願い申し上げ
げ町政の飛躍的大発展と
町民各位の御多幸を御祈
り申し上げます。

機械化センター

地区移管か？
自由貿易時代に入り農
業構造の改善が叫ばれて
いるおりから、機械化セ
ンターの拡充強化が必至
のものとなつて来たが、
県では、これが為に現在
の各センターを地区に移
管し、現地との関係性を
密接にして、その目的達
成を図る模様。

泌尿処理場

建設問題
遂次進捗中
泌尿処理場建設問題は
環境衛生上、急を要する
問題として論議されて来
たが、県としては、浪江
双葉園。大熊、富岡園と
小さざみにする案に対
して、郡町村会の意見とし
ては、大久、久之浜は平
の意向で目下検討交渉中
の模様。

（ちまたの声）

★結婚相談について
公民館には町内の適齢期
の男女について一定の資
料を整理して置いて必要
の時に訪れれば基本的な
相談が出来ると思ひ、ま
た郡内各公民館が連繫し
て実施出来たら更に助か
ると思ひます。 M生

★町の奨学資金制度
大熊町の将来にとつて一
番大事な事は人づくりだ
と思ひます。有能な人を
つくる事と思ひます。最初
はたとえ一万円でも良い
から奨学資金制度をつくら
せたいと思ひます。 i生

会議集録

民主的な社会とは

12月10日は、県教委の指導員を迎えて町公民館で議会文教厚生委員、教育委員、社会教育委員及び公民館運営審議委員を主体とする特別研修会。

12月14、15日は、原町市公民館で県教委主催の総合社会教育研究会。

2月3日、下1区分館で総合研究発表会と続けられたが、いづれも社会の急激な変化に対処して総合社会教育を押しすすめるようとするものでありその基盤として、「新しい人間関係」「民主的な社会建設」と云う二つくりの問題が大きくとりあげられた。

つぎに此等会議の中から重要な点を集めてみると人類は第3の火を発見した。

人類は大むかし、火を発見して使う事をおぼえた。そして技術がすすみ科学が発展する事になった。そのうち第2の火を発見した。それは電気の発明である。今や人類は第3の火をみつけた。宇宙時代に入るきつかけとなった。

▼社会変革の原因は、科学と技術が高度に発達して、お互いに結びついて来た。

②マス、プロの進展。科学と技術が生産に結びついて、オートメーション化し、大量生産の時代に入つて来た。

③マス、コミの発展。特に日本のテレビ普及は米国のついで世界第2位であり、交通の発達と共に世界がいよゝゝ狭くなつて来た。

④私達現代人の期待と不安はどこから来る。原子力時代の不安が常に私達の気持を暗くする。

⑤新しい人間関係とは。新しい人間関係とは、世界

の隅々から出来事が、私達の夕食ときの語り草となつて、関聯をもつて来た。

▲新しい人間関係とは。新しい人間関係とは、

昔は適者生存(頭の良いや、金や土地をもつもの、腕力のある者が他を犠牲にして生き残る)とされたが、今の世の中は、人権思想(生きる者の平等な権利)がもたらなる。だから、学問のあななが問題ではなくて市民の一人として、他人に迷惑をかけないと云う事が大事となる。

個人としての自覚と奉仕と云う事が近代的な人間関係のもとになる。たとえば、せん拳の場合に金や酒で自分の票を売る事は、政治の主権者が自分自身のだと云う事を忘れて、自分を否定して、自分の人間としての権利を売り渡すところに問題があるのだ。

現代学校教育の本質は、やれ点数が5だとか、4だ、1だとか、序列が何

番だとかにあるのではない。1の者は1なりに、腕力のある者が他を犠牲にして生き残る。とされたが、今の世の中は、人権思想(生きる者の平等な権利)がもたらなる。だから、学問のあななが問題ではなくて市民の一人として、他人に迷惑をかけないと云う事が大事となる。

個人としての自覚と奉仕と云う事が近代的な人間関係のもとになる。たとえば、せん拳の場合に金や酒で自分の票を売る事は、政治の主権者が自分自身のだと云う事を忘れて、自分を否定して、自分の人間としての権利を売り渡すところに問題があるのだ。

現代学校教育の本質は、やれ点数が5だとか、4だ、1だとか、序列が何番だとかにあるのではない。1の者は1なりに、腕力のある者が他を犠牲にして生き残る。とされたが、今の世の中は、人権思想(生きる者の平等な権利)がもたらなる。だから、学問のあななが問題ではなくて市民の一人として、他人に迷惑をかけないと云う事が大事となる。

民主的な社会とは

判った様な話だけ

つ者ではなく、えらばれた時から、えらばれた間だけ、きめられた範囲ですなはち、相対的な価値だけを代表するものなのです。

◆民主主義の人間観。民主主義では、人間と云うものをどう考えているでしょうか。

①民主主義では、お互い人間を、個人として、人間を尊重し、各々同し要求をもつて、自由と平等です。(自由と平等)。

◆新民法に家庭の原理。新しい家庭。前の民法では、封建的な家族制度のなごりとして、親権(実質は父権)と、血統尊重が強くのこつていたので、子供に対して、親特に父の権利が

つよく、妻に対しては夫の権利が強い。家庭の権利が多岐にわたる。家庭に多くは暗いかげをなげかけていた。民主主義の家庭は、家族みんなの家庭であつて、夫婦をもつて、子供の教育を見守つて行く集団なのです。

す。しかし生活上の民主主義もあるのです。日本の政治上の民主主義については憲法によつて定められています。こゝでは民主的な指導性の象徴として議会制度を

◆生活上の民主主義について。日常生活の中で民主的であるとは云うのはどんな事でしょうか。

①お互いに自分を確立する。(自我の確立)こと、自分の意見を正しく述べることが第一です。

②自分の意見を他人から尊重されること。即ちお互いに人の意見を素直にきくと云うこと(人権の尊重)が第2です。

③話し合いについて。民主的な社会では、お互いの話し合いが大事ですが、お互いの意見には必ず対立があるので、このちがつた意見を理解することが出来て、これを取り入れるための心のゆとりが必要になります。



以上が生活上の民主化の途なのです。



夫沢地区の料理研習会

下1区分館活動を開始

—総合社会教育への途—

大熊町公民館下野上1区分館は、昨37年の五月に移転改築したが、この程、分館組織を終って本格的な活動を始めた。社会教育本来のねらいは人々の考え方や在り方を革新して、社会をよりよいものに改善し、平和な民主社会、そして文化国家をつくり上げ、豊かな暮らしをあげるのにあるのだから、行政の面がますます分利化し、お互いの関係が、いよ／＼複雑にからみあつて来た現在、部落に成人教育の時代とまで云はれている。

燕の子

燕の子は、巢の中でちつとして親鳥のはこんで来る餌を待つている。そして内心では、他より早く食べたい、大きな美味いものを食べたいと思つているのだらう。1にも2にも、よそに頼るあり方。即ち町の、県の、国の施策と指導ばかり待つて行動する様な自主性のな行き方のなかからは本当の地域進歩と向上は生れて来ないだらう。お互いに民主化された在り方と、社会的つながりの中で、科学的に調査し、計画的に研究された資料をもととして、自分たちの生活を樹て直し、政治的に、経済的に、すゝんで働きかけて打開策を図る事が急務なのだ。こうして、下1区分館がとり上げたのが、農事研究会の活動をもととして部落ぐるみの学習態勢をと、家庭と部落の民主化、近代化を図りながら農業経営の近代化をめざそうとする途であつた。農改指導所の芳賀技師は

夫沢地区の料理研習部は、保健所としての食生活改善モデル地区。1月16日郡内モデル地区関係者、保健次、その他参集して、研究会が行われた。直接指導員は山田つき先生。

産業部会開かる

2月3日(日)降り出した雪にめげず、下1区分館で、公民館。区当局農事研究会が一体となつて、産業部会の第一回研究会発表会が開かれた。

夫婦親子ごぞつて出席した雪にめげず、下1区分館で、公民館。区当局農事研究会が一体となつて、産業部会の第一回研究会発表会が開かれた。出席者約40名、その特色は夫婦親子ごぞつての出席で、男女半々であつたことである。外に農協中央会の直林先生、大熊農協の大武、菅野の両先生、芳賀技師、吉田町経済課長、吉田社教主事等6名が参加した。先づ武内分館長挨拶のあと、武内(与)産業部副部長兼農事研究部長が4年間に及ぶ研究会の経過と、経営改善部、水稲

あるかどうかと云うこと、部落民の融和と熱意で、真剣な活動を続けていけるのは、半数にみたない。と。又部落の農事研究会生みの親である脇坂充さん、分館長の武内武雄さんは交々かたる。「この研究会も結成以来四年を経過して五年目に入った。今こそ各部毎の研究成果を持ちよつて、これを総合し、検討して、より深め、より拡大して、農業近代化への飛躍を図るとさだと思ひます。組織と云うものが、長続きして成果をあげるかどうかは、熱心な指導者かどうかだと思ふ。」

夫婦親子ごぞつて出席 部、畜産部、蔬菜部、病虫害対策部、林業部、青年部、婦人部(生活改善)及び、個人研究の部として、小泉渡さんの8年に亘る農業現象などについての一括発表をした後講話は、吉田社教主事の「公民館の活動と、民主的社會について。」吉田町経済課長の「農業構造改善対策事業について。」大武農協会計主任の「大熊町農協の概要特に信用事業について。」農協中央会の直林先生の「農協の育成について。」と続き最後に農改指導所の芳賀技師から「今後は更に月々の綿密な目標と計画が必要だ。又水稲なら集団栽培や、共同苗代など省力栽培について、又経営と記帳とに重点を置いて研究すること等。」一般的な意見開陳があつて、午前九時から午後一時すぎに亘る発表会を終つた。今後は引続き、各部毎の研究についての発表と検討を加えて将来の方針をたてる予定。尚下1区分館の編成は次の通り。

分館長 武内 武雄
主事 脇坂 充
書記 池田 伝
総務部長 武内 宗一
副部長 高野 昭二
教養部長 林 茂光
副部長 松本 直衛
産業部長 小泉トミ子
副部長 愛場 仁
体育部長 武内与三郎
副部長 脇坂 四郎
生活改善部長 小田 弘道
副部長 堀川ミツ子
婦人部長 江又 テル
副部長 小田キヨ子
青少年部長村上 光雄
副部長 林 春光
審議委員 杉内 六郎
大山勝蔵 小泉 渡
松本幸一 江又正雄
武内キヌイ
脇坂ハル子
尚、部落民は全部もれなく、どの部かに所属することになつてゐる。

寄贈御礼

このたび左の如く、公民館図書宛寄贈を受けました。深く御礼致します。河野磐州伝(上、下巻) 下5区、大滝ツルさん 信号は赤だ 江戸花火(山手樹一郎著) 下5区 齊藤留雄さん

編集メモ

本号は、新年度を前にして、志賀町長さんの町政執行についての、基本的な見解と、前町長、小畑さんの離任のことばを中心として編集いたしました。次号よりは遂次に、転換期町政の具体的な方向と主な施策を中心に編集して行きたいと思ひます。◎すべての事は、お互いの意識革命即ち民主化から始めると思ひますが、やゝ理くつじみですが特に、会議集録のせました。◎下1区分館記事は、新しい部落づくりの方向として、参考にしていただければ有難いと思ひます。◎第五、第六面は監査の公報と各機関の便りを主に編集してあります。◎論説、ニュース、詩歌なんでも結構です。文は一行11字詰めで、第30号は3月20日頃に発刊の予定です。



大熊町監査公表

第1号

地方自治法第199条第5項の規定により、大熊町立、小、中学校及公民館の監査を行ったので、同条第8項の規定により、その結果を次のとおり公表する。

昭和38年2月13日
大熊町監査委員

- 1、監査の対象
大熊町立、小、中学校
大熊町公民館
- 2、監査期日
昭和38年1月17日
1月18日
2月8日
- 3、監査結果

本町の学校管理及び物品関係並に予算執行の合理的にして効率的執行を図るための措置が適切であるかどうかを明らかにすることに重点をおき昭和38年1月17日、全18日2月8日の3日間に涉つて各学校等について実施した。

吉田 収 団	中野 栄 宗 団
大熊町立熊町小学校 昭和38年1月17日監査 1、学校管理の概況 児童在学数 本校 男 275人 女 265人 計 540人 分校 男 22人 女 23人 計 45人 合計 男 297人 女 288人	

大熊町立大野中学校 昭和38年1月18日監査	大熊町立熊町小学校 昭和38年1月17日監査
1、学校管理の概況 在学生徒数 男 230人 女 227人 計 453人 養護学級 18人 分校 1人	1、学校管理の概況 児童在学数 本校 男 302人 女 319人 計 621人 養護学級 13人 分校 34人 女子計 348人 女子計 671人 内訳 本校 621人 養護学級 16人 分校 34人

大熊町公民館 昭和38年1月18日監査	大熊町立大野小学校 昭和38年2月8日監査
1、財産管理の状況はおおむね良好と認められる。2、予算執行及び物品出納事務の状況は、おおむね適切と思われるが次の点について、留意改善の要がある。 消耗品関係については、消耗品出納簿により、事務処理の適正化を図りたい。 3、社会教育の指導の状況は適切妥当な執行と認められる。 又各種負担の状況もおおむね良好と認められる。	1、学校管理の概況 在学児童数 本校 302人 養護学級 3人 分校 18人 男子計 323人 女子計 323人 養護学級 13人 分校 34人 女子計 348人 女子計 671人 内訳 本校 621人 養護学級 16人 分校 34人

①その結果及び措置した事項は次のとおりである。給食を取らない児童が熊町小学校16名、大野小学校14名いるが、この原因を調査し、困窮者に対しては、町予算に於いて補助をし、全校児童の完全給食を実施されるよう教育委員会並に町に要請した。

②大野小、熊町小学校の給食事務等が輻輳しているので、学力の向上を計る。

生徒在学数
男 178人 女 173人 計 351人
学校管理の状況は、おおむね良好と認められる。尚校舍全般に亘り壁の破損が甚しく、此の儘放置することは、校舎の維持管理上不可能につき、全面的修理の必要を認め教育委員会並に町に要請した。

2、予算の執行及び物品出納事務については、適切妥当と認められる。
3、特別教室の不足を来たしてあり、曩に陳情のあつた教室増築については、教育上又備品の保管上必要と認められるので教室増築について教育委員会並に町に要請した。

大熊町公民館
昭和38年1月18日監査
1、財産管理の状況はおおむね良好と認められる。2、予算執行及び物品出納事務については、適切妥当と認められる。

町内が新正、月おくれ盆にふみぎつて以来、旧正、旧盆ときどき何か気の抜けた様な気がする。私達4区民は今年から新

おむね良好と認められる。2、予算執行及び物品出納事務の状況は、おおむね適切と思われるが次の点について、留意改善の要がある。
消耗品関係については、消耗品出納簿により、事務処理の適正化を図りたい。
3、社会教育の指導の状況は適切妥当な執行と認められる。
又各種負担の状況もおおむね良好と認められる。

大熊町立熊町小学校
昭和38年1月17日監査
1、学校管理の概況
児童在学数
本校 男 275人 女 265人 計 540人
分校 男 22人 女 23人 計 45人
合計 男 297人 女 288人

大熊町立大野中学校
昭和38年1月18日監査
1、学校管理の概況
在学生徒数
男 230人 女 227人 計 453人
養護学級 18人
分校 1人

3月11日
1、県教委の大熊町公民館指導視察
3月15日
公明せん拳話し合い
於公民館 午後1時

若妻学級と青年学級
◎若妻学級及び青年学級女子部は、1月、2月と合同学習。1単元「家庭設計について」
青年学級男子部は、同期間中、1単元「十層検定について」
3月は、「新利根農協」の現地研修。農業協同化について

ラジオ農業学校地方研修会
2月19日、於富岡町ビニール利用と実際(蔬菜栽培)
富岡農改普及所主催。青年学級の主力出席予定。
◎中双部農村青年研修会(農改普及所)
3月1日、於大熊町公民館、川内、富岡、大熊地区青年合同研修。青年学級主力参加予定。

行事
2月25日
福祉協議会役員会、議会文教厚生委員会、合同会議、午後1時
於役場会議室
2月28日
結核けん診。指定期 9時~3時 於公民館
2月28日
ネズミとり講習会。各区長、保健協力委員。
於公民館
午後1時より
3月5日
一週間
ポリオ投与
於大小、公民館
熊小、該当者
36・4・1日~37
1・30日 生れの者全員
30・7・1日~36
3・31日 生れ一部
24・3・1日
30・6・30日生れ全員



農協便り

●通常総会開催について
本年度から二月末決算三月に通常総会を開催することになりました。組合員には追って御通知いたしますが本年は合併後第一回目の総会でもありまずので万障お繰り合せ御出席下さる様今からお願ひ致します。

◎大平果樹団地の設置について
熊正、谷津田義重氏等が中心となり大平地区に十町歩のもも生産団地が出来ました。構成員の努力により苗木の成育振りは順調で明年より美味いももが多量に出荷される運びになっております。

◎一日皆貯金の実施について
三月中また一日皆貯金をいたします。また皆様の御協力を願ひします。



大野駅便り
大野駅 長

○2月20日から大野駅発の列車時刻が一部変更になりますのでお知らせ致します。◎かねてから通学、通勤者の

大野婦人会

だより

2月15日、大野婦人会員70名で平裁判所公判の傍聴をしました。10年前に傍聴した時とは全く変つて、裁判長を始め、終始にこやかで誰でも気軽に話せるフンイキで、民主化された事に全く驚ろかされました。セツ盗、傷害、さぎ、過失致死など4つの公判を見せただけ、その合間に裁判の種類、しくみなどを詳しく教へていたでいて大変勉強になりました。

―河西カツ―

区分上下別	現在	改正	行先	摘要
変更	下り	一三、二二原の町	気動車	
新規	上り	二〇、四九新地	気動車	
変更	上り	一〇、一九	気動車	
新規	上り	二〇、二〇平	気動車	
変更	上り	一三、五六平	気動車	
変更	上り	一二、四五	気動車	
変更	上り	一二、四五	気動車	

大野小学校の巻

「うちの子供たちは良い子ばかりです。」
笠原校長先生は、つねに生徒たちをほめて、
「おらん処の校長先生は事務室にばかりいないでいつも教室を廻つてくれる。遊ぶ時も僕等と一緒に校庭で遊戯をしたり、走つたりする。」
生徒たちも得意気に話す。その笠原校長先生は語る

貫つた後教委出張所の菊池社会教育主事を、おまねきして、話し合ひ、実施する予定で、P.T.A.役員の方と相談中です。

熊町小学校の巻

泉校長先生は、郷土出身として、生徒たちの父兄でもあり、先輩にも当体力と学力の両全をめざして、関係機関にはたらきかけ、万難を排してつ

町内学校めぐり

中、小学校本校の巻

「目下の急務は、生徒の学力を向上することです。近く、全校生徒の学力調査を実施し、その基礎にたつて今後更に具体策をすゝめる考えです。」
「どうしても、家庭での子弟の教育と、学校教育との関連が大事なので2月23、24日頃P.T.A.研究会を開き、授業を見て

いかに完全給食の実現をめざすか、刺げきが少く他の学力補充の途のない当地方の環境では止むを得ないと思う。」
去る2月10日、3年生と2年生を一緒にして、模擬テストを実施したが2年生でも一〇〇点満点の五〇点位をとつていて、マア／＼と思つています。...

(郵便局便り)

送金には便利な
定額小為替を
郵政省では、手紙の中に、現金を入れて送ることができなくなつたので定額小為替と云う制度をつくりました。
非常に簡便で、現金で送ると同じような制度です。

額面金額は百円から千円までは百円刻みに、千円を越え三千円までは、五百円刻みに定額となつており、料金も千円までは十円、二千円までは、三十円となつております。小額の送金には是非この制度を御利用下さい。限度額は三千円までです。

熊町中学校の巻

高木校長先生は、殆んどアルコール類を口にしない謹直な教育者。
学年末を控えて、進学指導や、就職指導と多忙な先生は語る。
「何と云つても、学力を向上する事が大事なので3年生は勿論、2年生に對しても希望者に對して課外補充授業を行つてい先生方には、御苦労をかけるが、刺げきが少く他の学力補充の途のない当地方の環境では止むを得ないと思う。」
去る2月10日、3年生と2年生を一緒にして、模擬テストを実施したが2年生でも一〇〇点満点の五〇点位をとつていて、マア／＼と思つています。...

大野中学校の巻

勝山校長先生は、県体育界の重鎮であり、中体連の会長でもある。
先生は語る。「私は時々人から、先生は教育者でなく、医者が政治家になればよかつたと云われるはうれいとも又いやな事だとも思われない。たしかに客が来ると、教育をそつちのけに、郷土開発を論じたり、「特に双葉は、すべての面において谷間だ。」など、云われる事をなげく。複雑な問題、教育問題、学校統合問題、農業近代化問題等々何でも素人論をぶつてせい／＼する。
私個人の持前や、技量を生かして、町の中央に道場をつくり、柔剣道で青少年の指導もしたいと思ふ。でも三十有余年を教育者として生きた現在、矢張り教育の尊重と体育や文化の向上を思うことが一番つよい。
私は当面の問題としては非とも、理科室、技術室の特別教室がほしい。
二番目に屋内体育館がほしい。
三番目に、各教科指導の教材、教具資料を充実したい。
四番目に、夢と云われるかもしれないが、水泳プールがほしい。
太平洋を目の前に控えながら、県体、国体、オリンピックの種目にある水泳の正しい技能をみにつけて大会に出れないなどは、おかしな話である。「竹槍教育時代」は第二次大戦で終つた筈だと思ふ。
「せめて教育の谷間だ」などと云われないよう、一歩一歩夢の実現まで近づきたいものだ。...

双葉農業高校便り

◆ 畜舎等の増築に加えて本年度は、農業管理室の建築、校舎の移管などで大分整備されました。尚待望久しい体育館建設の早期実現について、町民各位の御協力をお願い致します。

◆ 吉田久氏・渡部義綱氏の御寄贈で国旗掲揚柱完成。又駅伝競走では、県中通り縦断、県北両駅伝の優勝に次いで、2月3日の浜通り縦断駅伝にも各位の御声援によつて優勝しました。

◆ 目下優良白レグの大量育すう中で、3月下旬より中ピナを売り出しますので、どうぞ。

2月28日
卒業生の送別会
3月1日卒業式です

